



## 自分が「誰か」に

家庭内では、掃除も炊飯も、必ず誰かがやらなければならぬものです。たとえ夫婦がそれぞれに仕事や子育てで忙しかったとしても、その家事をお互いに押し付け合うようなことがあれば、家の中が落ち着かなくなってしまう。

「率先垂範（人に先んじて行い、模範を示すこと）」という言葉があります。誰かがやらなければならぬなら、自分がその「誰か」になる———そのように考え方を变えることで、心が前向きになり、

## 道徳で人と社会を幸せに

率先して実行する意欲を持つるのではないのでしょうか。

「自分が誰かになる」という思いは、家庭内だけでなく、社会の中でも大切です。一人ひとりの思いは小さなものかもしれませんが、「親切」や「助け合い」として行動に現れれば、私たちの社会は大きく変わっていくことでしょう。そのためにも他人任せではなく、まず自分がその「誰か」になる勇気が必要です。

『ニューモラル心を育てる言葉366日』

「道徳」教科化—ヒントの泉

掲載日から7日間限定で10名様に**プレゼント!**  
道徳を考える月刊誌『ニューモラル』最新号

住所・氏名・「中津商工会議所N」を明記の上、メールまたは電話でお申し込みください  
公益財団法人モラロジー研究所 〒277-8654 柏市光ヶ丘2-1-1  
E-mail: book@moralogy.jp TEL: 04-7173-3155